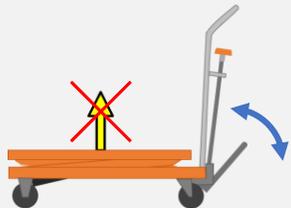


症状

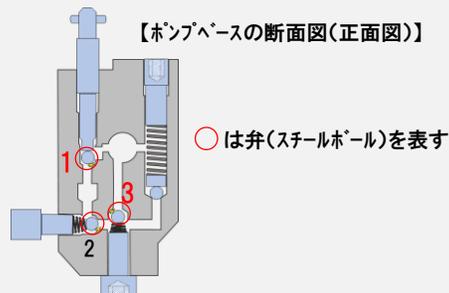
原因

修理方法

A-1



テーブルがペダルを漕いでも上昇しない
(1と3の弁:ゴミかみ)



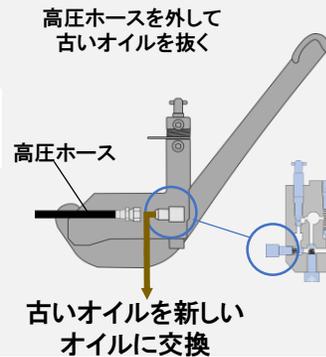
ポンプ内の1または3の弁にゴミがかんでいる。



空漕ぎ



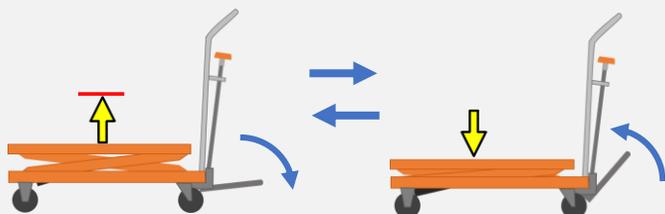
ゴミを直接取り除く



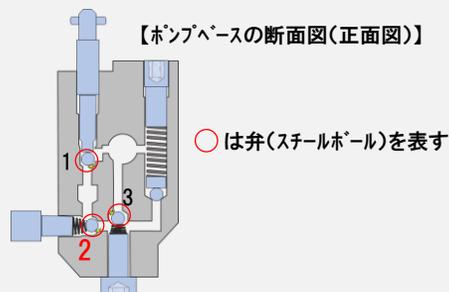
高圧ホースを外して
古いオイルを抜く

古いオイルを新しい
オイルに交換

A-2



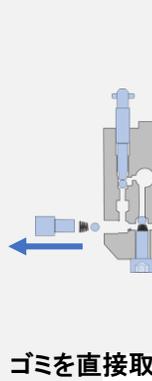
テーブルがペダルを踏んだとき上昇し、離すと下がる
(2の弁ゴミかみ)



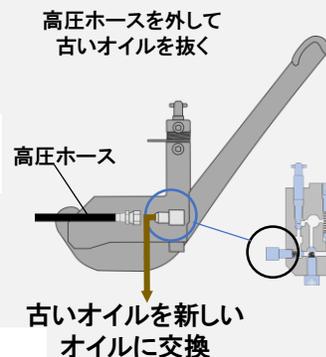
ポンプ内の2の弁にゴミがかんでいる。



空漕ぎ



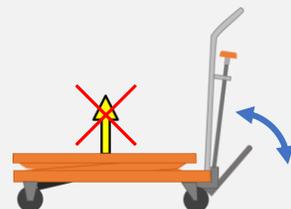
ゴミを直接取り除く



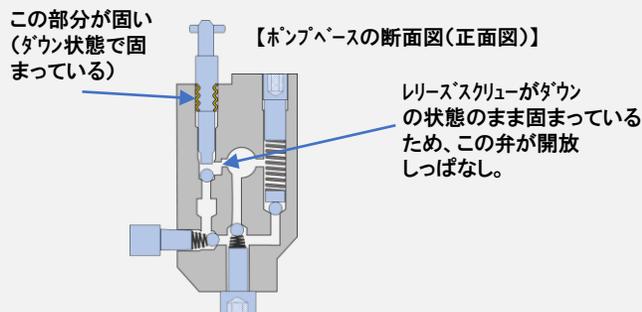
高圧ホースを外して
古いオイルを抜く

古いオイルを新しい
オイルに交換

A-3

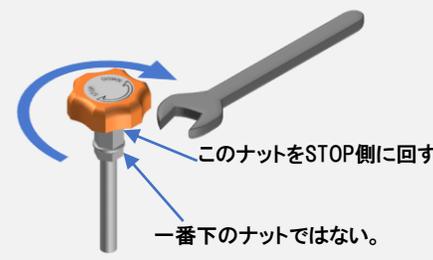


テーブルがペダルを漕いでも上昇しない
(1の弁が開放されっぱなし:リリーススクリュー起因)



この部分が固い
(ダウン状態で固まっている)

リリーススクリューがダウン
の状態のまま固まっている
ため、この弁が開放
しっぱなし。



このナットをSTOP側に回す

一番下のナットではない。

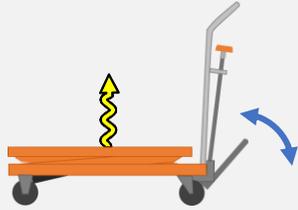


症状

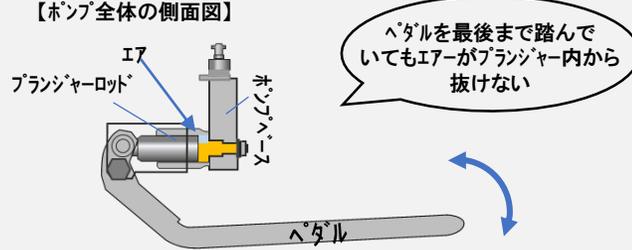
原因

修理方法

B



ペダルを1回踏んだときの上昇量が少ない。



エアがポンププランジヤー* に入り込んでいる。

*プランジヤーロッドが出入りする空間

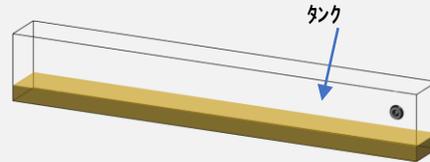


操作側を50mm程度持上げてペダルを漕ぐ(空漕ぎでも普通に漕いでも良い)。ペダルは最後までしっかり押すこと。(プランジヤー内のエアがプランジヤーから抜ける)

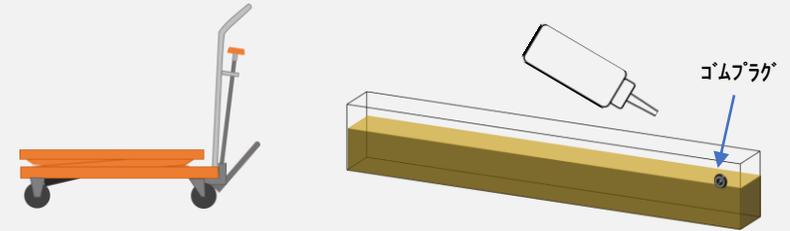
C



テーブルが最高位まで上がらない。



タンク内の油が少ない。

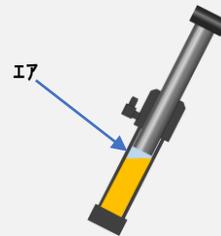


テーブルを最低位にしてゴムプラグを外し注油(VG22)。

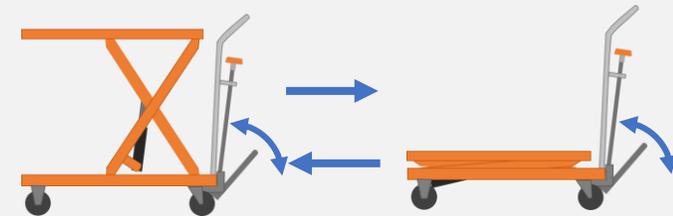
D



テーブルがふわふわする。



エアがシリンダー内に入り込んでいる。



テーブル上昇下降を数回繰り返す(シリンダー内のエアがタンクに戻る)

症状

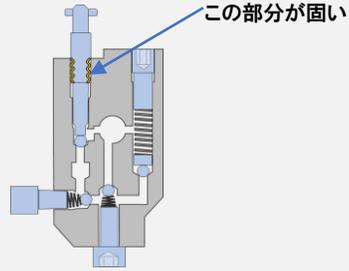
原因

修理方法

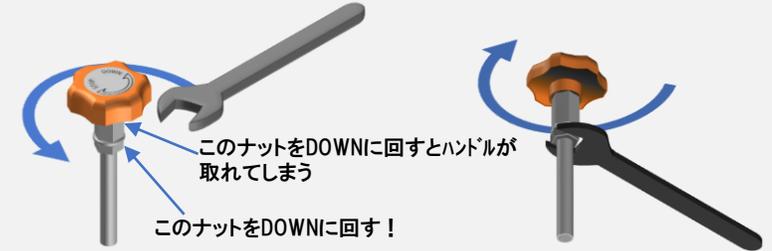
E



テーブルが下がらない。
(リリースハンドルをDOWN側に回らない)



リリーススクリューのネジが何らかの理由で固い
(サビ、変形等)

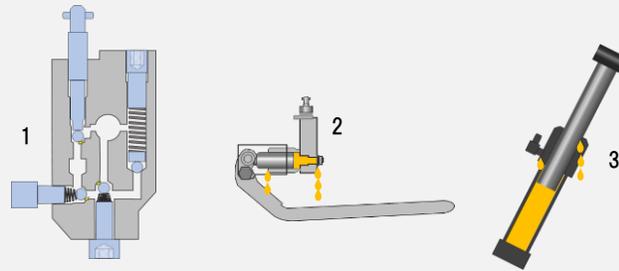


一番下のナット(上図)をスパナでDOWN側に回す。

F



テーブルがゆっくり降下してしまう
(リリースハンドルがSTOPになっているのに)



1. ポンプ内シート面*が傷ついている。 3. シリンダから油漏れ
2. ポンプから油漏れ 4. 自然降下

*シート面は弁(スチールボール)が接している部分

1. 新品のポンプに交換。
2. 新品のポンプに交換。またはOリング交換
3. 新品のシリンダに交換。またはOリング交換
4. 修理不要(JIS規格内)

説明

A : A1～A3はすべてポンプの弁がなんらかの原因で開放されているためにテーブルが上昇しない。

A1とA2は弁とシート面の間に金属粉などが詰まっているので、空漕ぎをして、金属粉を吹き飛ばせれば、症状は良くなるが、金属粉はタンクに戻るだけなので、再び同じ症状が再発する可能性がある。オイルを交換すると、金属粉が含まれるオイルすべてを外に出すので、再発はしづらくなる。但し、空漕ぎやオイル交換で金属粉が絶対に取り除けるわけではないので、その場合は直接取り除く必要がある。A3についてはEを参照。

B : ポンププランジャー内にエアが入り込むと、1回の踏み込みでシリンダーへ供給されるオイル量が少なくなってしまう。キャストが100φ以下の機種で起こりやすい。逆に150φ以上のキャストの機種はこの症状は起こりにくい。理由はシャーシーと地面の距離が長く、ペダルを踏んだとき、プランジャーロッドがプランジャー内にエアが入っても押し出される。

C : タンク内のオイルが少ないと、シリンダーへ供給されるオイル量が足りないためシリンダーが最高位まで上がらない。

D : エアはオイルと違って簡単に圧縮してしまうのでふわふわする。

E : レリーズスクリュウのネジが固くてレリーズハンドル（レバー）が回らなくなっている。固くなる理由はサビとか変形などがある。STOPの状態でもレリーズハンドルが固まっているため、弁が閉じたまま、オイルがタンクに戻れなくなっている。因みにA3は逆にDOWNの状態でもレリーズハンドルが固まっている状態。

F : オイルがポンプ内部でリークしてタンクに油が少しづつもどっているか（弁のシート面の傷・自然降下）、オイルが外部にリークしている（ポンプからのオイル漏れ・シリンダーからのオイル漏れ）ために起こる。僅かなテーブルの下降は「自然降下」として規格内としている（15分間でストロークの2%まで）。